

令和4年度東部地区学力向上推進協議会 (研究発表会)



令和5年1月27日(金) オンライン開催

令和5年1月27日(金)に、東部地区学力向上推進協議会(研究発表会)を、東部管内全小・中・義務教育学校の研究推進担当者、各市町教育委員会学力向上推進担当指導主事など、303名を対象として開催しました。

本発表会においては、東部地区の児童生徒の学力向上を目的とし、『未来を生き抜く人財育成』学力保障スクラム事業』として、A市及びB市の教育委員会と学校に成果報告を、D市の教育委員会と学校に実践発表をしていただきました。また、「学力向上研究校指定事業』として、C市の教育委員会と学校に成果報告をしていただきました。さらに、東部教育事務所が作成した「全国・学力学習状況調査を活用した授業改善」について発表しました。その後、義務教育指導課指導主事による指導・講評も行い、それぞれの研究成果をはじめとする学力向上に係る効果的な取組について、東部管内の全小・中・義務教育学校に情報発信しました。

※市町名、学校名、地区名は明記していません。

【成果報告】

『未来を生き抜く人財育成』学力保障スクラム事業』

- A市教育委員会
- A小学校

(1) 研究主題

確かな学力を育成するための学習指導

～最後まで粘り強く取り組み、表現する力を高める学習活動の工夫
(算数科を中心として)～

～「●●プライドの醸成」ー自信をもって生きる児童・生徒の育成ー(小中一貫教育)～

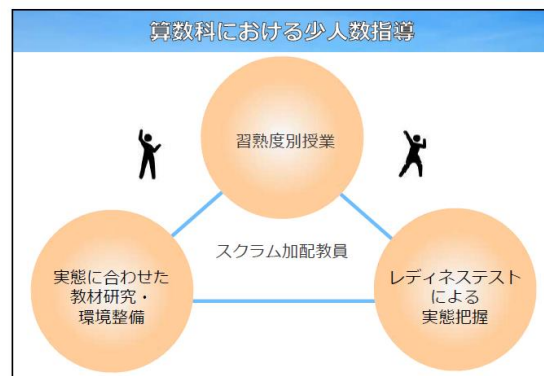
(2) 研究の実践(抜粋)

① 算数科における少人数指導

- ・習熟度別授業の実施
- ・レディネステストによる実態把握

② 国語科におけるチームティーチング

- ・担任による実態に合わせたきめ細やかな学習支援の実施
- ・スクラム加配教員が授業を見ることによる若手教員の指導力向上



- ③ トリオ学習、教材研究、その他の取組
 - ・習熟度別3人グループ「トリオ」による学習活動
 - ・担任とスクラム加配教員の綿密な話し合いと教材研究
 - ・家庭学習「蛍雪賞」、放課後の学習環境の整備「●●こぼと塾」

(3) 研究の成果と課題（抜粋）

【成果】

- ・児童の学習に対する意識の変容
- ・授業形態の多様化と充実

【課題】

- ・スクラム事業の取組を全校に広げていくこと
- ・効果的な個別支援の在り方
- ・問題に最後まで粘り強く取り組む力の育成

【成果報告】

『『未来を生き抜く人財育成』学力保障スクラム事業』

● B市教育委員会 ● B小学校

(1) 研究主題

学力・体力の向上と豊かな心を育成する小中一貫教育の推進
 ～かしこく なかよく たくましく
 未来に希望を“つなげる”「よりよく生きる力」の育成～

(2) 研究の実践（抜粋）

- ① 「TEAM会議」を中心とした組織づくり、共通理解・共通行動
 - ・推進の中心となる「ミニTEAM会議」と、それを学校全体に共有する「TEAM会議」の設定

- ② 少人数指導やチームティーチングによる指導形態の工夫
 - ・スクラム加配教員の立場を生かした指導・支援
 - ・休み時間の個別学習

- ③ ICTや学力調査の活用
 - ・「●●タイムICT」の取組
 - ・授業内や家庭でのタブレットを活用した学習
 - ・学力調査を中心としたPDCAサイクルと学年・学級のOODAループ



(3) 研究の成果と課題（抜粋）

【成果】

- ・算数少人数指導、●●タイムによる学習意欲と学力向上
- ・学び方の定着

【課題】

- ・国語におけるチームティーチングのより効果的な指導方法の検討
- ・効果的な取組を学校全体の取組に広げていくこと

【成果報告】

「学力向上研究校指定事業」

● C市教育委員会 ● C中学校

(1) 研究主題

魅力的でわかる授業・主体的に学ぶ授業の構築を目指して
～学習意欲の向上と学習習慣の確立～

(2) 研究の実践（抜粋）

① 授業内での取組

- ・授業における「振り返り」の徹底
- ・相互授業参観による教員の授業力向上
- ・英語の授業改善と専科加配教員の訪問による小中連携の充実

② 授業外での取組

- ・自主学習ノートの取組と掲示の工夫
- ・やりとり帳や自主学習ノートへの家庭での見届けのお願い
- ・中1ギャップ解消のための小中合同研修会の実施

(3) 研究の成果と課題（抜粋）

【成果】

- ・魅力ある授業づくりについての学校全体の共通理解
- ・自己効力感の向上

【課題】

- ・学ぶ意欲を高める授業の実践
- ・家庭学習の習慣化



【実践発表】

『未来を生き抜く人財育成』学力保障スクラム事業

●D市教育委員会 ●D小学校

(1) 研究主題

主体的な学びと「思考力」を育む授業づくり
～根拠をもとに、筋道を立てて考えられる児童の育成～

(2) 研究の実践（抜粋）

① 国語における取組

- ・導入3分での語彙増やし
- ・主体的な学びを大切にした授業づくり

② 算数における取組

- ・問題文の図式化、筋道を立てて説明する力の育成
- ・導入3分での基礎計算力アップ
- ・「わかった」「できた」を実感できる授業づくり
- ・論理的な思考力の育成
- ・目指す児童像のゴールを共通理解

③ 授業内での取組

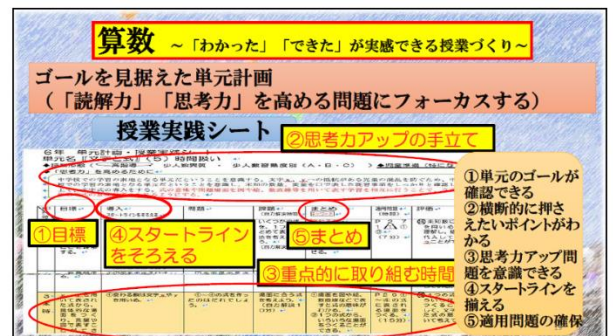
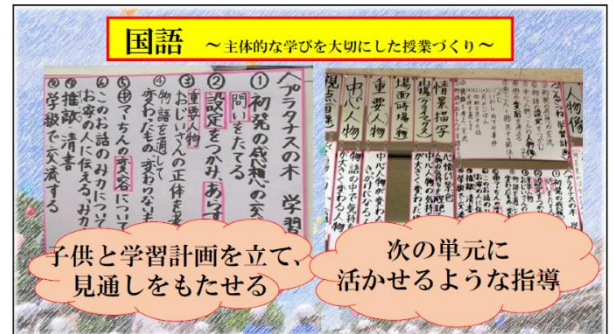
- ・学習規律の徹底
- ・チームティーチングや習熟度別学習による、つまずきのある児童への確実な支援
- ・ノートの取り方について全校で統一した指導を実践

④ 授業外での取組

- ・国語タイムでの書くことの指導
- ・算数タイムでの計算力や思考力を伸ばす指導
- ・昼休みチャレンジでの学習
- ・傾聴作文の実施

⑤ 家庭との連携

- ・自主学習の取組と表彰
- ・●●プレや読書に係る取組



(3) 研究の成果と課題（抜粋）

【成果】

- ・埼玉県学力・学習状況調査における学力レベルや学習方略及び非認知能力の数値の向上

- 学力向上の工夫を全校で実践したことによる学校全体での学力向上

【課題】

- 家庭の状況に配慮した児童への効果的な支援方法
- 本事業終了後における持続可能な実践方法

「全国・学力学習状況調査を活用した授業改善」

● 東部教育事務所 学力向上推進担当

- 各学校へのメッセージとして
- 各教科（小学校国語 中学校国語 小学校算数 中学校数学 小学校理科 中学校理科）の教科の調査問題から見える授業改善の視点について

東部地区学力向上推進協議会

全国学力・学習状況調査
を活用した授業改善



令和5年1月27日(金)
東部教育事務所 学力向上推進担当

授業改善の視点 (例) 算数・数学

【例】 数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する学習の流れ

導入

- 児童生徒が興味、関心をもって主体的に取り組める課題設定

展開

- 自力解決
- 解決過程を振り返り得られた結果の意味を考察
- 他者の考え等を踏まえながら統合的・発展的に考察

まとめ・振り返り

- 適用問題の工夫
- 児童生徒の言葉を生かしたまとめ
- 授業の振り返りを自分の言葉で記述

「主体的・対話的で深い学び」を実現するための手立て(例)

- ICTや図、具体物等を活用して、視覚的にイメージをもたせたり、体感させたりして算数・数学に対する興味・関心を高める学習活動
- 「なぜ」や「どのように」などの発問を通じて、理由や根拠を踏まえながら考えさせたり説明させたりする学習活動
- 言葉や数、式、図、表、グラフなどの表現を適切に用いて、それらに関連付けながら事象を数学的に簡潔かつ明確に表現する学習活動

算数・数学のよさや楽しさを子供たちに実感させる授業改善に取り組んでいくことが大切

「指導講評及び情報提供」

● 県教育局市町村支援部 義務教育指導課


学力向上推進・学力調査担当 大澤 正樹 指導主事

- 1 実践校の発表について
- 2 情報提供
 - 埼玉県学力・学習状況調査の結果及び結果の活用について
 - 県学調を活用した県の取組

令和4年度
東部地区学力向上推進協議会

未来を創る、こどもたち。
未来を育てる、わたしたち。
～未来への責任～

- 1 実践校の発表について
- 2 (情報提供)
 - 埼玉県学力・学習状況調査の結果及び結果の活用について
 - 県学調を活用した県の取組



令和5年1月27日(金)
県教育局市町村支援部義務教育指導課
学力向上推進担当